

会 議 録

1 会議名

平成 30 年度 第 1 回上越市高齢者見守り支援ネットワーク会議

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 当市における高齢者を取りまく現状と見守り支援の取組の強化について（公開）
- (2) 今後のスケジュール等（案）について（公開）
- (3) その他（公開）

3 開催日時

平成 30 年 5 月 31 日（木）午後 2 時から午後 3 時 20 分まで

4 開催場所

春日謙信交流館 集会室

5 傍聴人の数

0 人

6 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委 員：服部 武、馬場 隆信、宮本 慶之、大竹 祐子、五十嵐 靖雄
小池 潤、大堀 みき、飯塚 俊子、荒川 秀一、三上 千加子
山岸 誠、青木 稔雄
- ・ 事務局：高齢者支援課 横田課長、丸田副課長、西山副課長、細谷副課長
小池係長、宮腰主任

7 発言の内容

- (1) 開 会
- (2) 委嘱状交付
- (3) あいさつ
- (4) 委員紹介
- (5) 会長、副会長の選出 会長に五十嵐委員、副会長に飯塚委員を選出
- (6) 議 題

① 当市における高齢者を取りまく現状と見守り支援の取組の強化について

（事 務 局）： 資料により説明 ー説明省略ー

（五十嵐会長）： 地域包括支援センターが平成 30 年度から再編されたが、各地域包括支援センターの管轄エリアのひとり暮らし高齢者世帯、高齢者のみ世帯や支援が必要な世帯の把握等を行っていると思われるが、具体的

な数字や把握の状況はどのようになっているのか。

(細谷副課長) : 地域包括支援センターは、65歳以上の元気な高齢者や介護が必要な高齢者も含めた総合相談窓口として、今年の4月から新しい体制でスタートしている。これまでは、市内19か所に配置していたが、4月からは11か所に再配置し、保健師、社会福祉士、主任介護支援専門員等の3職種が揃った体制で運営実施している。

上越市は、市街地や中山間地域などいろいろな地域があるので、一つの地域包括支援センターの担当エリアの人口規模を概ね4,000人から6,000人で整理した。

新体制の下、高齢者のみ世帯やひとり暮らし高齢者世帯で優先順位の高い世帯から順次、巡回訪問をしている。

次回の高齢者見守り支援ネットワーク会議で訪問数等の実施状況を報告させていただく。

(服部委員) : 地域包括支援センターにおける対応状況の確認はどのように行っているのか。

(細谷副課長) : 毎月、地域包括支援センターが行った訪問数や相談内容などについて市へ報告することになっており、対応状況を確認している。

また、今年度から新体制になったことに伴い、2か月毎に開催する地域包括支援センターの研修会において、全ての地域包括支援センターが同じ視点で対応をしているかを確認している。

なお、研修会がない月は、市職員が地域包括支援センターを巡回し、状況を確認している。

(服部委員) : 地域の方に地域包括支援センターの活動が十分に認知されていないことがある。

(細谷副課長) : 介護が必要な方には、地域包括支援センターの活動を理解いただいている一方で、元気な高齢者には訪問活動等が理解されないことがある。

そのため、各地域包括支援センターで権利擁護や認知症の初期段階の相談に対応していることを周知するチラシ等の戸別配布や、また、町内会長や民生委員・児童委員宅を訪問し、地域包括支援センターの活動の周知を行っている。まだ、新体制で十分に活動ができていない部分もあるかと思うので、研修会等を行い、活動の徹底を図っていきたい。

(大堀委員) : 資料1の認知症高齢者の数値は、医療機関での診断を受けた方の数値なのか。

(細谷副課長) : 資料1の認知症高齢者数は、要介護認定の審査において、認知症の調査項目で一定基準を超えた方の数値であり、必ずしも医療機関において認知症の診断を受けた方ではない。要介護認定の審査を受けていない方は含まれていないため、認知症高齢者数はもう少し多いと思われる。

(宮本委員) : 高齢者等見守り支援ネットワーク協力事業所から実際に緊急の通

報があったものは何件あるのか。また、ふれあいランチサービスで同様に緊急の通報が何件あったのか。

(丸田副課長)： これまで、高齢者見守り支援ネットワーク協力事業所から市への緊急の通報はないが、警察や消防へ直接、緊急通報を行っているケースがあることは承知している。

(西山副課長)： 過去にランチの配達中に救急車を手配したケースが数件あったと承知している。

②今後のスケジュール等（案）について

(事務局)： 資料により説明 ー説明省略ー

(馬場委員)： 民生委員・児童委員の地区会長会議が7月18日に開催する予定となっており、全地区の会長から意見をいただくには、少し時間が必要になる。

(丸田副課長)： 各団体の都合等もあるので、改めて各団体に聞き取りをさせていただき、第2回の会議を開催したいと考えている。

(宮本委員)： 各団体の取組のとりまとめについて、例えば、上越市社会福祉協議会で行っている「支え合いマップ」作りを通じた各団体の皆さんとの連携の仕方の提案という整理でもよいか。

また、「支え合いマップ」の町内会への紹介の方法はどのように考えているのか。

(丸田副課長)： 「支え合いマップ」作りを通じて各団体の皆さんとの連携提案があればお願いしたい。

また、「支え合いマップ」の活動の町内会への具体的な紹介方法は、今後、協議させていただきたい。

(服部委員)： 町内会長連絡協議会の中で、議論して取組を提案することは難しい。

(丸田副課長)： 町内会長連絡協議会については、各団体から提案していただいた見守りの取組の実施にあたって協力をいただく形になるのではないかと考えている。

このネットワーク会議で決まった内容を、町内会長連絡協議会で御提案いただく役割をお願いしたい。

③その他

特になし

(7) 閉 会

8 問合せ先

健康福祉部高齢者支援課支援係

TEL : 025-526-5111 (内線 1676)

E-mail : koureisya@city.joetsu.lg.jp

9 その他

特になし